

TERUSA AUTO FRYER & OIL DEHYDRATOR

オートフライヤー&脱油機 総合カタログ



Terusa
テルサ

独創的なアイデアが生む、確かな製品。

テルサの食品機械の源は、独創的なアイデアにあります。

業界の将来を見据えた先進的なアイデアや、

独特の構造によるオリジナルなアイデアの具体化・製品化をします。

また、お客様先における実際の使われ方や将来にわたる目的を考え、

ニーズに応える製品づくりをしています。



オートフライヤー 6K型

AUTO FLYER

- 6K型-40(特注)
- 6K型-55(特注)
- 6K型-70(特注)
- 6K型-100
- 6K型-115(特注)
- 6K型-130(特注)
- 6K型-145(特注)
- 6K型-160
- 6K型-190(特注)
- 6K型-220



p.3-6

脱油機 RC型

OIL DEHYDRATOR

- RC型30-10(特注)
- RC型45-10
- RC型65-10
- RC型85-10
- RC型100-10(特注)



p.7-10

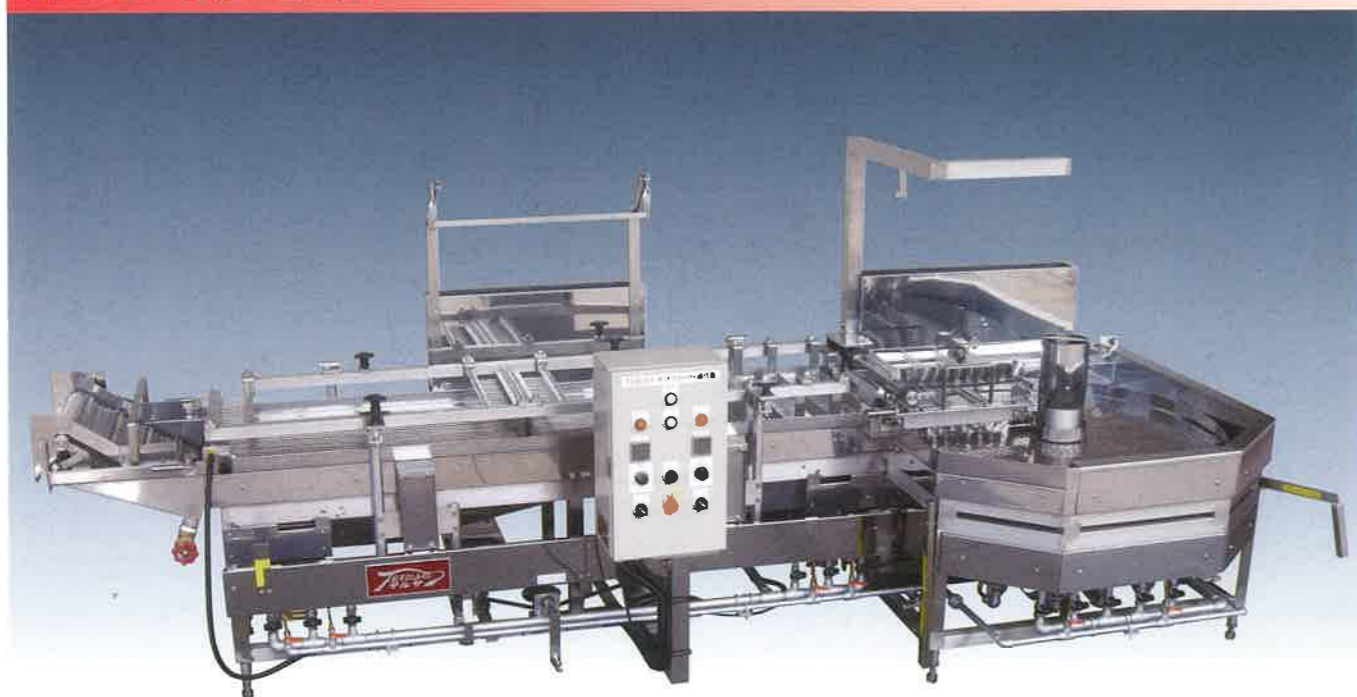
「地球環境」を考えた製品づくりを実行しています。

環境に配慮した企業活動は、自然環境・社会環境を守りつつ生態系全体をよい方向へ導きます。

当社の企業活動が「すべての生態系環境にやさしくあること」を基本方針として実施しています。

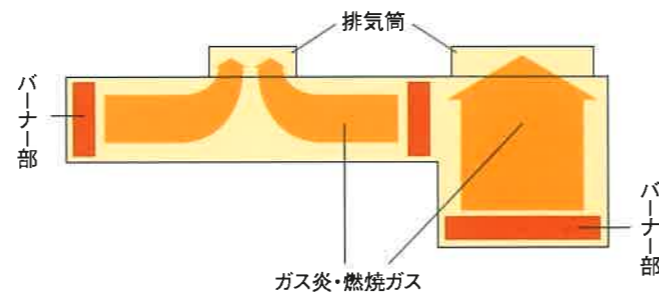
- 機械製作における節電および騒音の発生抑制をします。
- 製造段階で材料などの無駄を省き、切削くずは鉄・ステンレス・アルミなどを完全に分別リサイクルへまわします。また、有害物質の使用削減に努めます。
- お客様の機械ご使用段階における消費電力の削減をします。
- お客様の機械ご使用後のリサイクルを考慮して設計しています。

6K型-160 (右~左流れ)



燃焼ガスの排気を利用した省エネタイプ

手前のバーナーを燃焼させ、そのガス炎・燃焼ガスを奥側の排気筒へ流すことにより油槽の底を全体的に温めます。



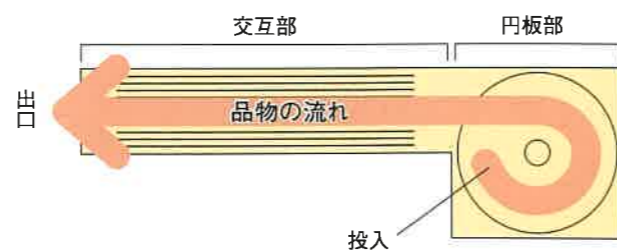
速度・温度が設定自在しかも簡単

1. 円板部と交互部それぞれで速度を設定できます。
(モータを2台使用・ワンタッチボリュームつまみでそれぞれ設定)

2. 円板部と交互部それぞれで温度を設定できます。
(デジタル表示の温度計サーモスタットをそれぞれ設定)



制御盤



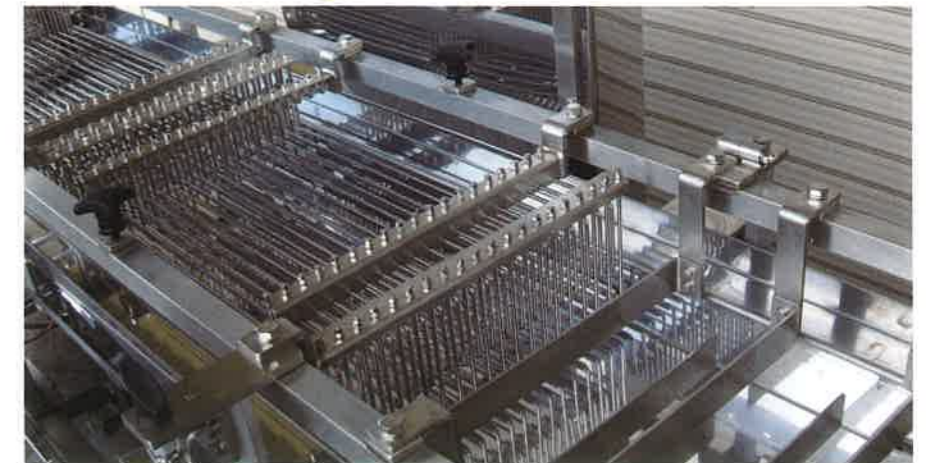
細かい物、大きな物、厚い物、うすい物など、多品種・多様な揚げ物に対応できます。



円板部(投入部)



揚り口(出口部)



交互部(仕上げ)

揚げりムラをつくらない「交互移送方式」【当社特許】

2組のステンレスの交互ピン(φ5丸棒)が、それぞれ交互にクランク運動することにより、揚げ物を油中に沈めたり浮かしたりしながら出口方向に移送して揚げていくシステムです。そのため、反転(裏返し)させずに揚げりムラのないきれいな揚げ物ができます。



交互移送方式イメージ

ワンタッチだから、清掃が簡単

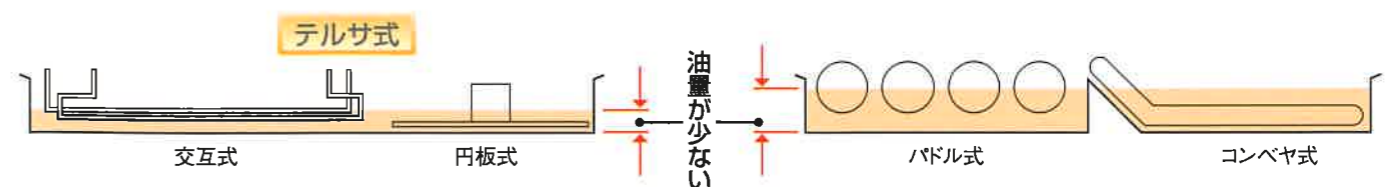
機械清掃の際は写真のように、簡単に全て跳ね上げることができ、油槽内を楽に掃除できます。

- 旧型に比べて、開口部が大幅UP。掃除がしやすくなっています。
- 円板は写真のように簡単に持ち上げられます。
(6K型-220は、手動巻上げウインチ付き)
- 交互部は、旧型を改良し、工具無し・ワンタッチ解除で跳ね上げられます。
- コンベヤ部はワンタッチで、解除・固定できます。開口部も旧型より大きく拡がっています。
- 油槽底面は、旧型のような窪みが無く、表面がフラットになり、掃除がしやすくなっています。



油の使用量が格段に少ない円板式・交互式

他社のコンベヤ式パドル式に比べて油の使用量が大変少なく済みす。そのため、油の傷みが少なくなります。また、健康志向の油などの付加価値油を低コストで使用できます。さらに、揚げ物の揚がっていく様子や揚げり具合を、実際に見ながら確認できる構造です。



工場に合わせたレイアウトが選択可能

機械には、右流れ・左流れの種類がありますので、お客様の工場に合わせてお選びいただけます。



仕様一覧

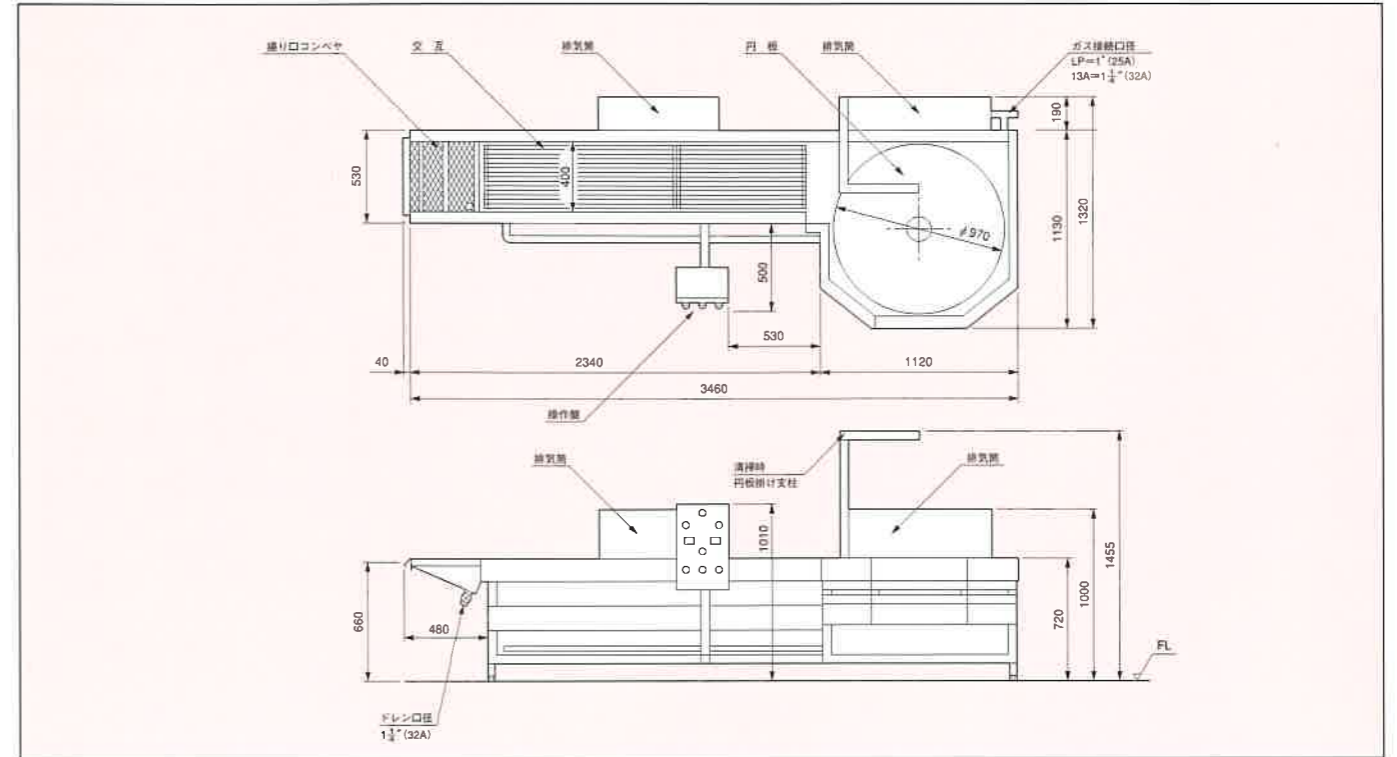
2017年7月 現在

型式 - 機種名	生産能力	油量 (一斗缶)	ガス量 (全開時)	外形寸法 (全巾×全長)	円板直径	交互搬送棒長さ	備考
6K型 - 100	70~100 kg/h	2~3缶	50,000 kcal/h	1,190×2,450(mm)	700(mm)	850(mm)	標準型
6K型 - 160	110~160 kg/h	3~5缶	90,000 kcal/h	1,320×3,500(mm)	970(mm)	630+850(mm)	標準型
6K型 - 220	155~220 kg/h	4~7缶	120,000 kcal/h	1,520×4,700(mm)	1,170(mm)	630+850+850(mm)	標準型
6K型 - 40	30~40 kg/h	1~1.5缶	27,000 kcal/h	1,050×1,390(mm)	570(mm)	630(mm)	特注型
6K型 - 55	38~55 kg/h	1.5~2缶	36,000 kcal/h	1,300×1,640(mm)	820(mm)	850(mm)	特注型
6K型 - 70	50~70 kg/h	2~2.5缶	50,000 kcal/h	1,060×2,000(mm)	570(mm)	630(mm)	特注型
6K型 - 115	80~115 kg/h	2.5~4缶	58,000 kcal/h	1,310×2,570(mm)	820(mm)	850(mm)	特注型
6K型 - 130	90~130 kg/h	2.5~4缶	66,000 kcal/h	1,215×3,000(mm)	820(mm)	630+630(mm)	特注型
6K型 - 145	100~145 kg/h	3~4.5缶	74,000 kcal/h	1,320×3,280(mm)	970(mm)	630+630(mm)	特注型
6K型 - 190	130~190 kg/h	4~6.5缶	100,000 kcal/h	1,520×3,700(mm)	1,170(mm)	630+850(mm)	特注型

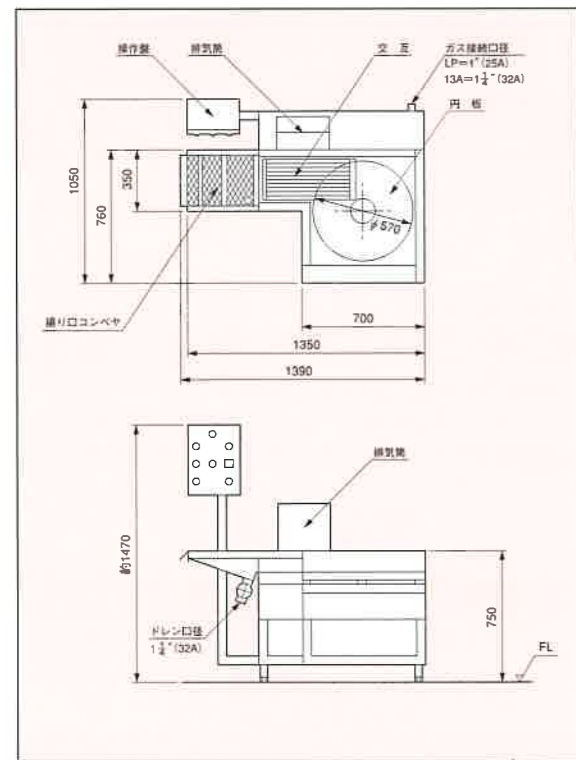
●モータ：三相 200V 0.2kW 2台(6K型-40は1台) ●電磁弁：単相 200V 0.016kw 2ヶ所(6K型-40、55は1ヶ所)

注) 特注型は、標準型に比べ価格が割高になり納期が少し長くなります。注) 生産能力は目安です。揚げ方により生産能力は表の値より大きく変わります。

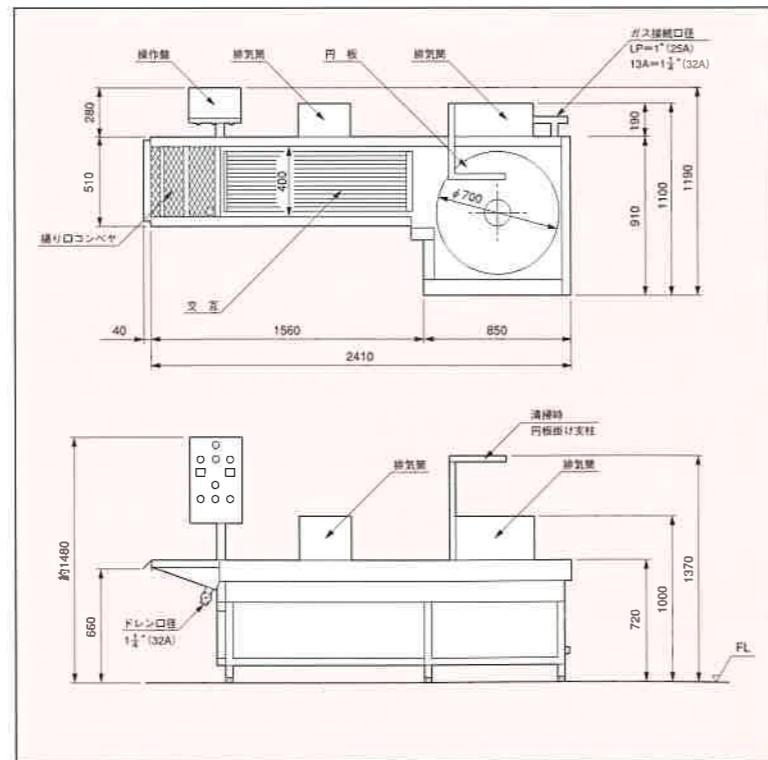
6K型-160(右~左流れ) ※標準型



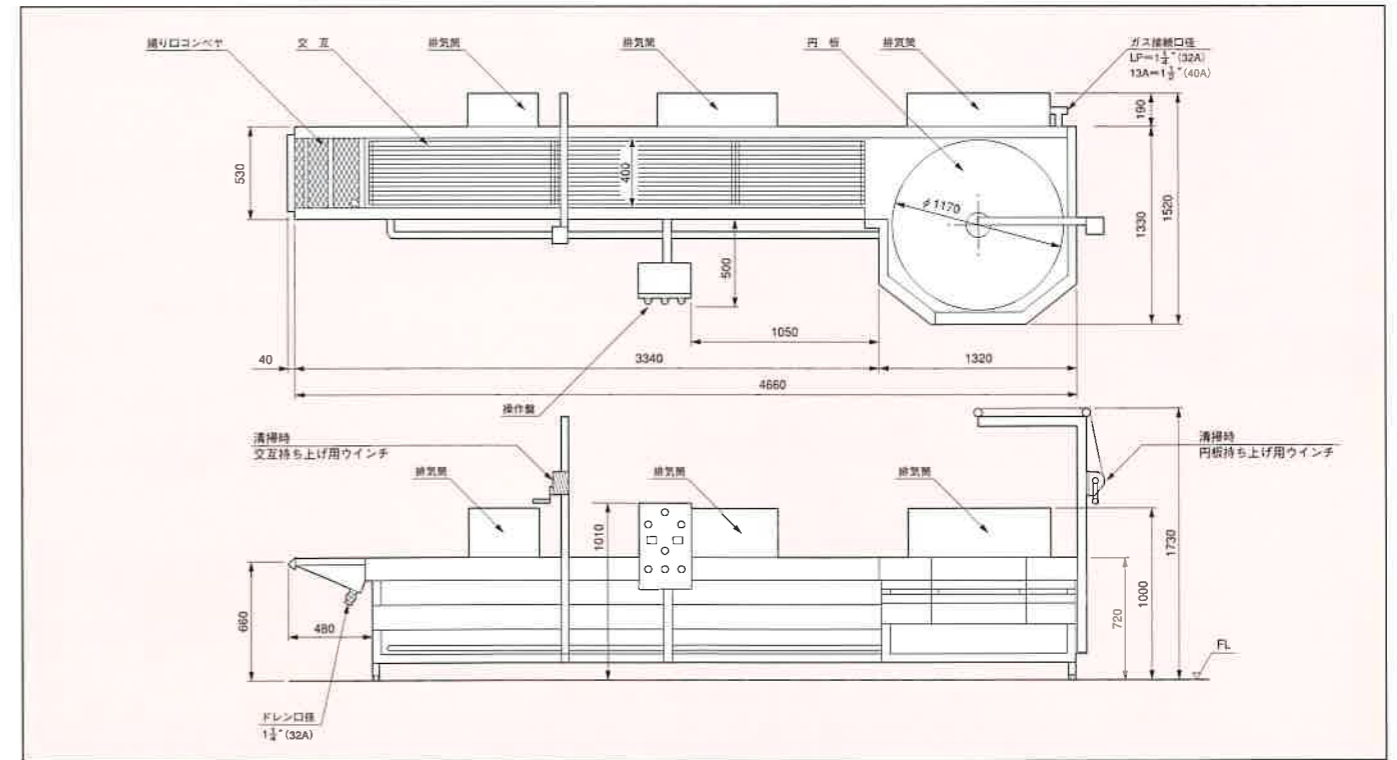
6K型-40(右~左流れ) ※特注型



6K型-100(右~左流れ) ※標準型



6K型-220(右~左流れ) ※標準型



工場に合わせて右流れ・左流れの選択が可能です。

オプションで専用の油保管タンクがあります。その他特別仕様に対応致します。

※ 図中、詳細部品は省略しています。本仕様は、予告なく変更することがあります。

RC型 45-10 (標準タイプ・左～右流れ)

新型にモデルチェンジしました。

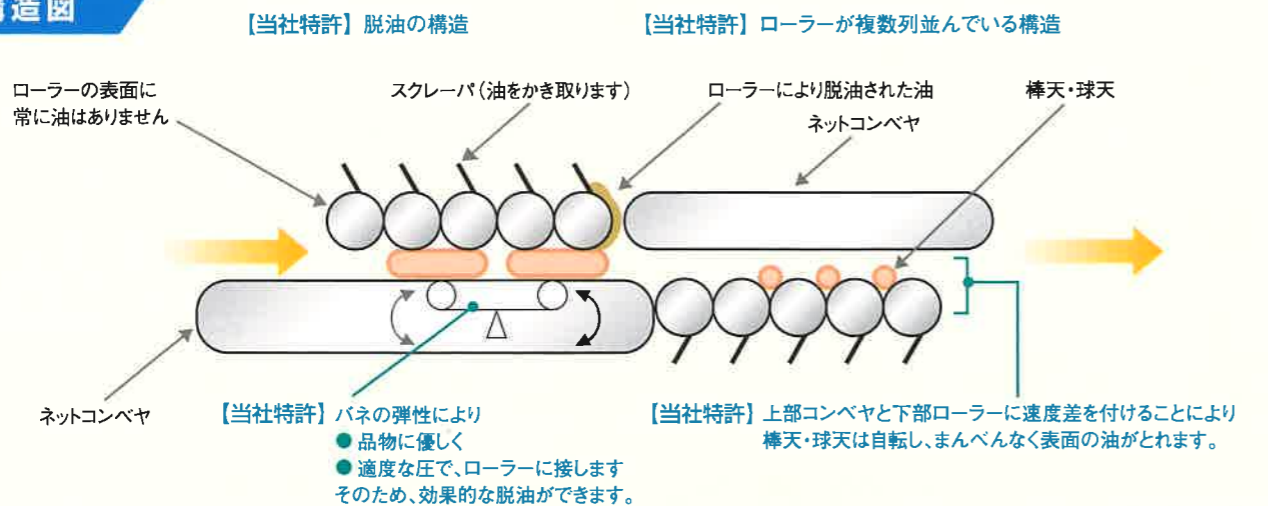
- 消耗部品を大幅に削減しました。そのため故障発生が大変少なくなりました。
- 棒天・球天の脱油がさらによくなりました。
- 消費電力の削減 (旧型機比50%以上削減)
- 省スペース化 (標準タイプの全長・全幅を削減しました)



ステンスローラー採用のテルサの脱油機RC型

テルサの脱油機RC型は、旧来の脱油機と異なり、揚げ物から油を拭き取るのに布ベルトを使いません。RC型は、複数のステンレス製ローラーにより、揚げ物にやさしく、きれいに油を拭き取ります。ステンレス製ローラーは各々にスクレーパ (油かき取り部材) が付いているため、ローラーの表面に常に油が付いていない状態が保てます。そのため、毎日新品の布で拭いているのと同じ状態で油が拭けます。

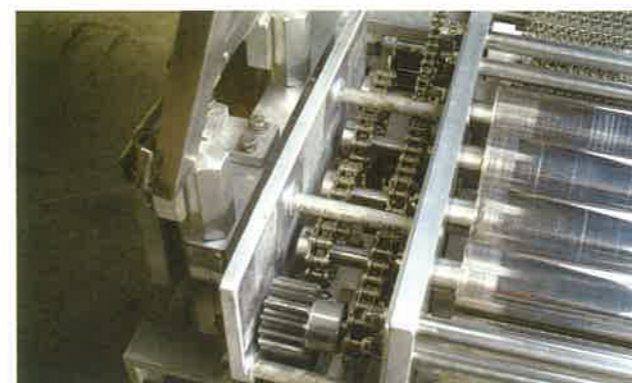
構造図



注:これはイメージ図です



ステンスローラー



駆動部分 (拡大)

上下コンベヤを持ち上げた状態 (清掃時)



清掃が簡単に行える、衛生面を考慮した構造

機械は毎日手軽に洗浄でき、常に衛生的な状態で使用できます。

- ステンレス・アルミ・プラスチック (厚生省許可材) など、錆びない材料を使用しています。
- 清掃時には、ワンタッチフックを外すことで、簡単にコンベヤ部が起こせます。(右上写真参照)
- RC型65-10以上の機種は清掃時、コンベヤ持ち上げ用自動巻上げウインチ付きです。

RC型85-10 (ウインチ付き) (ステンレス仕様) (左～右流れ)



抜群の脱油効果

ステンレス製ローラーは、各々にスクレーパ (油かき取り部材) が付いているため、ローラーの表面には、常に油が付着していない状態を保てます。そのため、毎日新品のきれいな布で拭いているのと同じ状態で油が拭けます。したがって従来の布ベルト仕様の機械以上の脱油効果があります。

布ベルト代=0円

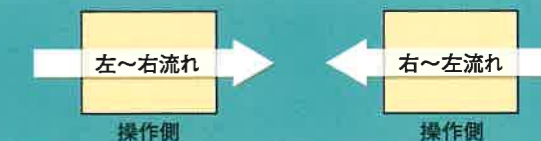
布ベルトを使用しないため、ランニングコストが確実に減ります。

回収油は再利用可能

揚げ物から脱油して回収する油は布ベルトから絞り出された油と違い、フライヤーにて再利用が可能です。

工場に合わせたレイアウトが選択可能

機械には、右流れ・左流れの種類がありますので、お客様の工場に合わせてお選びいただけます。



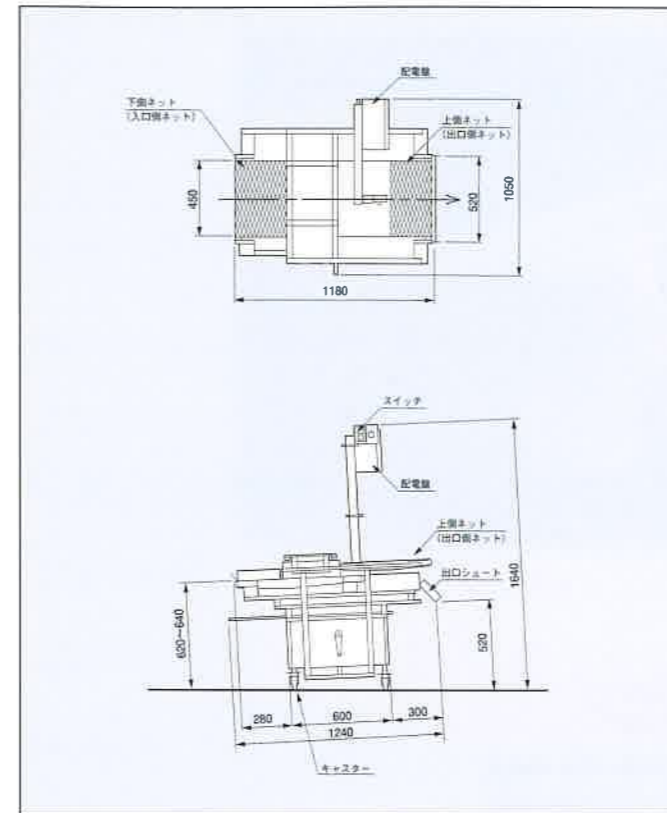
仕様一覧

2008年1月 現在

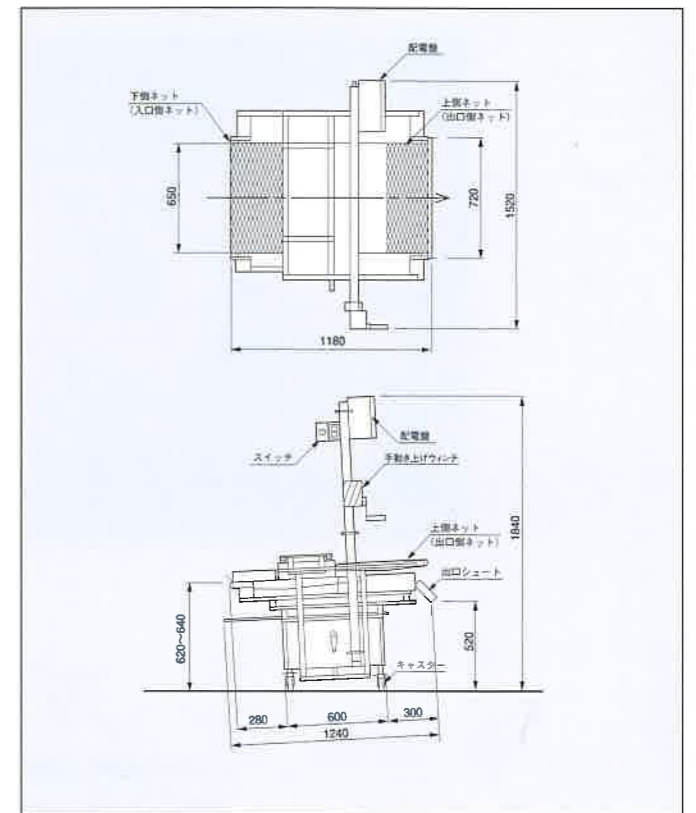
型式 - 機種名	寸法					使用モータ	備考
	コンベヤ巾	入口高さ	出口高さ	機械全長	機械全巾		
RC型 30-10	300 (mm)	640 (mm)	520 (mm)	1,180 (mm)	900 (mm)	三相 200V 200W 2台	特注型
RC型 45-10	450 (mm)				1,050 (mm)		標準型
RC型 65-10	650 (mm)				1,520 (mm)		標準型
RC型 85-10	850 (mm)	690 (mm)	550 (mm)	1,720 (mm)	1,720 (mm)	三相 200V 400W 2台	標準型
RC型 100-10	1,000 (mm)						1,870 (mm)

注) 特注型は、標準型に比べて納期が若干増えます。

RC型 45-10 (左～右流れ)



RC型 65-10 (左～右流れ)



RC型 65-10 (ステンレス仕様・右～左流れ)



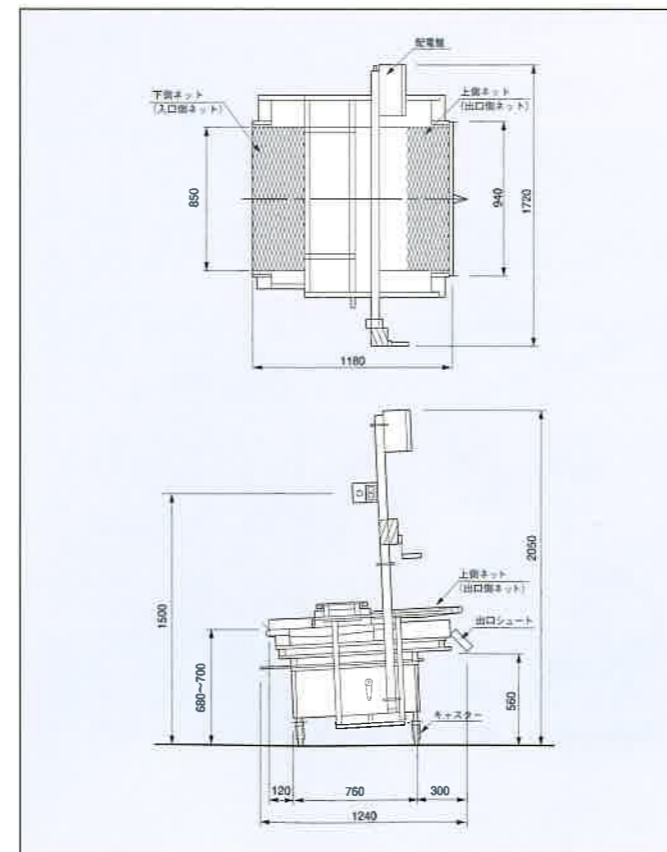
オプション

- 入口ネットコンベヤを延長できます。
(延長寸法により見積もりします)
入口ネットコンベヤを延長することにより、
機械をご希望設置ラインに合わせるができます。
(1m程度まで延長可能です)
- 足高さUP
フライヤーの出口高さや現在既設ラインの高さに合わせ、
機械を高くできます。
- その他
あらゆるご要望にできる限りお応えいたしますので、
当社へご相談ください。

その他、例

- ・ウインチ追加変更など
- ・出口コンベヤ仕様
(出口側に連結コンベヤを取り付けます)
- ・標準よりさらに全長(入口～出口)を短くできます。

RC型 85-10 (左～右流れ)



※ 図中、詳細部品は省略しています。本仕様は、予告なく変更することがあります。
※ RC65型以上の機種は、すべて手動巻き上げウインチ付きです。
※ RC型30-10、45-10は、オプションでウインチ付きやハネ上げアシスト付きができます。